

開成の杜

第97号 ●2015年6月19日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



学園の春

水無月に思う。



理事長・学園長
関口 修

4月8日の附属高校入学式にキャンパスを清めた純白な雪に驚かされ、5月の天候は、快晴の日々が例年になく続き、草木の輝きが素晴らしく、観る者を楽しませてくれました。5月2日は立春から数えての八十八夜でした。それは「八十八夜の別れ霜」を意味します。八十八夜以後は農作物に害をなす霜が降らないと昔から伝えられている経験からの生活の知恵に感動します。しかしながら、今年の5月は日照りが続き、農業関係者は葉物野菜に甚大な影響を受け、収穫する野菜の価値が下がり、消費者にとっては野菜の価値が厳しいとの声を多く聞きました。

このような現象を冷静に分析すると、主観と客観には大きな差異があることを教えられます。翻って、よかれかしと思う行為も、時として相手にとっては迷惑となつていることが屢(しばしば)存在することに気が付きます。少々飛躍しますが、桜の花びらは歓迎されますけれども、桜の枯葉は嫌われます。杉や檜は建築資材として喜ばれますが、

それらの花粉は多くの人々に害をなしています。

このように、私たち人間の暮らしを観察すると、善悪の判断が難しくなることが多く、数えきれない誤解を生みだしています。誤解の過去(歴史)を精査すると、原因発生以前の事象の変化に注目すべき要因が内包されているといえます。問題以前の状況に起因要因が存在していることを知らねばなりません。誤解の解決ばかりではなく、様々な社会の齟齬や問題点を解決するには多面的な考察が不可欠なのです。

多様なカリキュラムを勉強することにより、幅の広い考え方が生まれるのです。人間が人間らしく生きるためには学問が大切なのです。学問の探究を続けると、そこには原因と結果を結び付ける根拠が存在することを学びます。疑問を持ち、根拠を見出して問題解決の努力が思考を育み人間力を磨いてくれます。考えを実行する努力が求められているのが現代です。大学(短期大学)で学ぶことは教養科目と専門科目が融合することにより普遍的な能力を養うのです。夢を未来に実らせる努力は学生時代にあるのではなく、いでしょうか。皆さんが創り出す未来に私の夢を繋ぎます。

(平成27.5.25記)



建学の精神を守り伝え69年 さらなる充実を図る

学校法人郡山開成学園の創立69周年を祝う記念式典が4月22日、建学記念講堂で行われた。素晴らしい晴天に恵まれ教職員1500名が、郡山開成学園オーケストラの演奏で記念式典歌を歌い祝った。

関口修学園長は「物を開き、物と成すの言葉通り、地域社会の発展



69周年の喜びを述べる学園長



教職員が歌う「若者讃歌」

のために、開拓の精神を持ってこれからも歩んでほしい」と式辞を述べた。この後、全教職員が登壇し、「若者賛歌」を歌った。これに呼応して学生、生徒が応答歌「青春の確かさを今」を合唱した。

式典の後、平成27年度第一回教養講座が開かれた。講師は福島テレ

ビ代表取締役社長 糠沢修一氏で「時代認識とふくしま再生への道」と題して講演した。糠沢氏は「東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から4年、福島復興に向けた取り組みが絶え間なく進められているが、姿形で見える復興だけではなく、心の復興も重要である。テレビや新聞を通して正しい情報に接し、世の中の動きを知ってほしい。皆さんと力を合わせ県土再生に向け前進しましょう」と話した。



講演する糠沢福島テレビ社長

最高の5つ星を獲得 第6回エコ大学ランキング

特定非営利活動法人エコ・リーグ(本部東京)が毎年実施している「エコ大学ランキング」の第6回大会において、省エネ・地球温暖化に関する本学の取り組みや、学生ナチュラライフスタイル部を中心に活動に協力したことが評価され、最高の「5つ星エコ大学」に選ばれた。

ランキングは全国753大学にアンケートを送り、回答のあった146大学の環境対策が点数化された。東京で行われた表彰式には、緑川管財部長と竹原NSL部長が出席した。2人は「地道に取り組んでき



エコ大学ランキング表彰

た環境対策が認められ大変嬉しい。受賞を励みにこれからも努力します」と喜びを語った。

企業説明会に 270人が参加

2016年春に卒業予定の大学・短大生を対象とした学内企業説明会が3月5日、建学記念講堂展示ホール・ホワイエなどで行われた。



担当者の説明を熱心に聞く参加者

3月1日の就職活動解禁で就職戦線も本格化、従来よりも3ヶ月遅

永年勤続者表彰

記念式典の席上、永年勤続者表彰が行われ、14人に記念品と金一封が贈られた。受賞者を代表して岩谷まり子さんが「今まで仕事を続けてこれたのも学園長先生はじめ諸先輩のおかげ、これからも学園の更なる発展のため力を尽くしてまいります」と決意を述べた。

表彰者は次の通り。(敬称略)

- ▲事務局長/岩谷 まり子
- 【勤続30年】
- ▲高校/平間 法子 相楽 旬子
- 平 文敏 鈴木 正 渡辺 秀行
- ▲事務局/鈴木 真美
- 【勤続20年】
- ▲大学/浅野 彰 郡司 尚子
- ダニエル・ホーナー
- ▲高校/平栗 洋三 藤田 健
- 【勤続10年】
- ▲短大/斎藤 理沙
- ▲事務局/菅野 孝子



表彰された皆さん

れの短期決戦に焦りや戸惑いも見受けられた。

会場には参加企業43社がブースを設け、人事担当者が企業概要や採用情報などを詳しく説明、大学生と短大生270人等が各ブースを回り真剣な表情で担当者から説明を受けていた。

平成26年度 附属高校進路先一覧 平成27年3月31日 現在(在籍93名)

◎郡山女子大学(10名)

進路先	人数
郡山女子大学 家政学部人間生活学科 生活総合コース	3
郡山女子大学 家政学部人間生活学科 建築コース	1
郡山女子大学 家政学部食物栄養学科	6

◎郡山女子大学短期大学部(30名)

進路先	人数
郡山女子大学短期大学部 家政科福祉情報専攻	10
郡山女子大学短期大学部 家政科食物栄養専攻	3
郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科	8
郡山女子大学短期大学部 生活芸術科	6
郡山女子大学短期大学部 音楽科	1
郡山女子大学短期大学部 文化学科	2

◎他大学(18名)

進路先	人数
東北学院大学 教養学部 人間科学科	1
作新学院大学 人間文化学部 人間文化学科	1
埼玉学園大学 人間学部 子ども発達学科	1
埼玉学園大学 経済経営学部 経済学科	1
浦和大学 こども学部 こども学科	1
聖学院大学 人間福祉学部 子ども心理学科	1
駒澤大学 文学部 歴史学科	2
東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	1
和光大学 表現学部 芸術学科	1
日本女子体育大学 体育学部 運動科学科	1
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科	1
東京女子体育大学 体育学部 体育学科	2
国立音楽大学 音楽学部 音楽教育学科 幼児音楽教育専攻	1
尚美学園大学 芸術情報学部 音楽表現学科	1
関東学院大学 経済学部 経営学科	1
京都産業大学 文化学部 京都文化学科	1

◎他短期大学(2名)

進路先	人数
山野美容芸術短期大学 総合エステティック科	1
有明教育芸術短期大学 こども教育学科	1

平成26年度 附属高校における進路状況について

平成26年度、本校卒業生の進路決定率は、約99%(92人/93人中)であり、目標の100%には惜しくも届かなかったが、ほぼ達成できたといえる。進路先の内訳は、進学が83%で、就職が16%であった。

進学では、郡山女子大学及び短期大学部に40人合格したのを含め、大

学へ28人、短期大学へ32人が進学した。昨年度の進路先の傾向としては、

高大連携生入学者選抜を中心とした本学志向が高いことと県外の大学

進学者の割合が高いことが挙げられる。この二つで全体の2/3を占めて

いる。今後も安易な進路選択をさせないように、十分な情報提供や面談などを実施して適正な進路指導を行っていく。

就職に関しては、昨年度も順調に内定をいただき、全員が希望する就職先に合格した。今後もミスマッチのない職業選択に心を配りながら就職指導を進めていきたい。

今年度もすべての生徒の進路決定に向けて、全教職員が一致団結して取り組み、夢を実現させられるよう支援していく。

第61回県高校体育大会

ハンドボール部 創部3年目で 全国大会へ

附属高校ハンドボール部はライバル郡山東に圧勝した。立ち上がり15分まで0点に押さえ、素早いパスワークで攻撃を仕掛け、そのまま逃げ切った。

主将の小湊沙姫(3年)さんは「チームが一丸となって優勝できて嬉しい。インターハイでは1試合でも多く勝ちたい」と喜びを語った。富本監督はこの3年間で成長した生徒たちに目を細め、全国大会での活躍を期待していた。

- ▽2回戦 郡山女子大附属 25-7 学法石川
- ▽準々決勝 郡山女子大附属 34-7 安積黎明
- ▽準決勝 郡山女子大附属 30-13 いわき総合
- ▽決勝 郡山女子大附属 28-17 郡山東



優勝した附属高校ハンドボール部

卓球競技

- ▽ダブルス 3位 伊藤明日香・金沢綾花 〓 東北大会出場
- ▽シングルス 東北大会出場者 〓 伊藤明日香・金沢綾花

やったぜ! バレーボール部も 全国大会へ

順調に勝ち上がった附属は粘る磐城一を振り切り、2年連続17回目の優勝を飾った。「春高バレー」と



優勝した附属高校バレーボール部

新人戦の決勝で敗れた悔しさを見事に晴らした。

丹野瑞希主将(3年)は、全国総体(インターハイ)に向けて「全体的にレベルアップを図り、ベスト8を目指す」と力強く抱負を語った。

- ▽2回戦 郡山女子大附属 2-0 福島成蹊
- ▽3回戦 郡山女子大附属 2-0 白河
- ▽準々決勝 郡山女子大附属 2-0 郡山東
- ▽準決勝 郡山女子大附属 2-0 聖光学院
- ▽決勝 郡山女子大附属 2-1 磐城一

春のオープンキャンパスに 300人が参加

3月15日に春のオープンキャンパスが開催され、県内外から300人の1・2年生が参加した。高校生に本学の魅力を早めに知ってもらおうと昨年度から実施している。参加者や保護者は8学科で模擬授業を体験した。

また、今回初めて在学生と高校生がフリートークできる「学生ブース」が設置された。学生たちが「どんな授業なのか」どんな学校行事がある

のか」などの高校生の疑問などに丁寧に応じた。昼食では大学・食物栄養学科が考案、調理したオリジナルキャンパスランチが振舞われた。27年度のオープンキャンパス日程は次の通り。

- 第1回 6月14日(日)
- 第2回 7月11日(土)
- 第3回 9月6日(日)
- 第4回 10月3日(土)・4日(日)

今年も無料送迎バスを運行します。「米沢方面」「西那須野・黒磯方面」「福島・二本松・本宮方面」「白河・矢吹・須賀川方面」「小野・船引・三春方面」「喜多方・会津若松・猪苗代方面」「棚倉・石川方面」「いわき泉・いわき駅方面」*詳しくは、リーフレットかホームページをご覧ください。

方部別教育懇談会 日程決まる

教育の充実を目指して、学園長をはじめ本学の教職員と父兄が懇談する方部別教育懇談会が今年も7月4日(土)〜20日(月)まで6方部で開催されることが決まった。これは本学園と学生・生徒の父兄が会合していつそう連携を密にし、学園と家庭の教育成果を上げることが目的として行われる。

- 懇談会では家族会長の挨拶、学園長による学園教育の基本方針について、また、教務部・学生生活部、就職部の各担当者からの説明が予定されている。
- 日程は次の通り。
- 7月4日(土) 郡山方部会
- 7月12日(日) 北東北方部会
- 7月18日(土) 福島方部会
- 7月20日(月) 会津方部会
- 7月20日(月) 会津方部会

特集 研修紀行

短期大学部

【美術研修旅行を終えて】

短大・生活芸術科 遠藤 綾華

私たち生活芸術科は2月の末、神戸、大阪を中心とした研修旅行に行っていました。感性を高めることを目標として、有名な美術館や博物館を巡って本物の芸術作品に触れました。世界の有名な絵画や彫刻を実際に鑑賞したことは本では感じることができない迫力を感じ、圧倒されました。兵庫県立美術館では阪神淡路大震災から20年の節目となり、震災をテーマにした展示が催行されました。その生々しさは4年前の大震災を彷彿とさせました。神戸の復興をみて東北の復興への希望を感じました。あべのハルカスでは高野山の名宝の数々や国宝を見ることができた良い経験が出来ました。また、自由散策をした北野異人館やUSJでは景色やアトラクションを思う存分楽しみ思い出を増やすことが出来ました。

今回の旅行は大変刺激のあるものとなり、とても充実した研修旅行になりました。

この経験を生かし自分達の成長に繋げていきたいと思っています。



道頓堀にて

【倉敷・神戸・淡路島・奈良・京都の旅】

短大・文化学科 柳沼 渚那

私たちは、2月末に4泊5日で、①地域文化を考える、②震災からの復興を考える、③資格課程関連施設について学ぶという3つの学習目標をもって研修旅行に行きました。東北、東日本と西日本を比べると、奈良・京都では、御所や寺院などの歴史的建造物の多さや食べ物、言葉などに文化の違いを感じました。

短大では、今年も各学科の特徴を生かした研修旅行を行った。学んだ新しい知識や世界観はこれからの学習に大いに役立つことでしょう。

感じました。そして神戸と淡路島では、20年前に起きた阪神淡路大震災からの復興の歩みのお話を聞きました。東若い世代が積極的に活動し、次世代に伝えなければならぬと改めて感じました。また倉敷の美観地区にある大原美術館や新装オープンした京都国立博物館など、多くの博物館施設を巡りました。四日目の自主研修では、グループ毎に京都の町を散策し、それぞれに研修目標を達成できた旅でした。



大原美術館本館入口前での集合写真

【福祉情報おもてなしを 学んだ研修旅行】

短大・家政科福祉情報専攻 澤田 千亜希

2月中旬に2泊3日で東京方面へ行きました。「先端技術@TEPIA」では、身近な生活を支える先端技術の見学、「TOYOTA MEGA WEB」では最新の福祉車両の見学、「日本科学未来館」ではメディアアートやASIMOなどの最新科学技術の見学を行い、私たちの暮らしを豊かにする情報技術を見て聞いて触れて、驚きの連続でした。



東京スカイツリーにて

【世界の食に触れた研修旅行】

短大・家政科食物栄養専攻 佐々木 沙也香

私たちが家政科食物栄養専攻の1年生26名は、2泊3日の日程で東京方面へ研修旅行に行っていました。3日間の研修内容は、チキンラーメン製造体験ホテルの厨房見学、和食と洋食のテーブルマナー講習、冷凍食品工場見学そして築地市場の見学と、食と栄養を学ぶ学科ならではの充実したものでした。特に印象に残った内容は、ドイツアンバサダーホテルでの「ミセス・ドイツ」のテーブルマナーです。堅苦しいと思っていたテーブルマナーについて歌やジェスチャーにクイズを交えて簡単に教えていただき、慣れない洋食のフルコースも会話しながら余裕を持って楽しく食事できました。料理の中に潜むミッキーマウスを見付けるたびに、おもてなしの心遣いを学びました。



株式会社ニチレイフーズ船橋工場にて

312名 希望の春 大学・短大・専攻科

開成校がほんだ4月4日、郡山女子大学第50回、同短期大学第66回、同専攻科第16回の合同入学式が建学記念講堂で行われた。郡山開成学園オーケストラが奏楽を演奏した後、大学・家政学部82名、短期大学部・専攻科230名の計312名が呼名され、関口修学長が全員の入学を許可した。

関口学長は告辞の中で「大学は探究する心を持ち、地域社会、日本や世界で活躍できるような教養を身につけてほしい」と述べた。来賓祝辞では品川萬里郡山市長、郡山開成学園家族会明珍賢司会長、郡山女子大学短期大学部同窓会安斎悦子会長が祝いの言葉を述べた。

附属高校生、幼稚園児、在校生代表の祝辞のあと新入生を代表して澤香菜子さん(人間生活学科)が「女性ならではの視点を大切に、社会で活躍できる教養ある女性をめざし、学問に邁進します」と誓いの言葉を述べた。



私が郡山女子大学を志願した理由

私は建築の分野に興味があり、将来は、住み手が早く家に帰りたいと思えるような心地よい空間づくりが提案できるインテリアコーディネーターになりたいと考えています。また、男性が多い建築の分野ですが、女性の目線で住居について学んでいきたいです。

私は4年間、資格取得にも取り組み、幅広い知識や、社会に必要なコミュニケーション能力も身につけ、素敵なインテリアコーディネーターになれるよう頑張ります。

大学 人間生活学科 千葉 杏奈

入学



ようこそ開成の杜へ

私が将来、地元の食材を使った食品の開発がしたいと思っています。そのために、食のエキスパートとして管理栄養士を目指し、更なる知識や技術を身に付けたいと思い、本学に入学しました。本学が女性教育に力を入れていることや芸術鑑賞講座、教養講座などで感性や教養を磨くことができることも魅力の一つで、今から楽しみにしています。

私は、これからの4年間で多くのことを学び、様々な経験を積むことで、将来の夢の実現に向けて頑張りたいと考えています。

短期大学 家政科食物栄養専攻 有我 渚

「高校で何がしたいのか。自分に何度も問いかけました。私は中学校でハンドボール部に所属し、全国大会を目指していましたが、しかし、その目標は達成できず、悔しさが残りました。『高校では絶対にインターハイに出場したい。これが私の答えです。附属高校の充実した施設と専門の先生による指導のもと、同じ目標を持つ仲間と必ず達成させたいと思います。また、文武両道を日々心がけて大学進学の高い目標を掲げ、学業に励みます。自分の決めた目標を達成するまで諦めず、何事にも積極的に挑戦し自分を成長させていきたいです。』

「高校で何がしたいのか。自分に何度も問いかけました。私は中学校でハンドボール部に所属し、全国大会を目指していましたが、しかし、その目標は達成できず、悔しさが残りました。『高校では絶対にインターハイに出場したい。これが私の答えです。附属高校の充実した施設と専門の先生による指導のもと、同じ目標を持つ仲間と必ず達成させたいと思います。また、文武両道を日々心がけて大学進学の高い目標を掲げ、学業に励みます。自分の決めた目標を達成するまで諦めず、何事にも積極的に挑戦し自分を成長させていきたいです。』

短期大学 家政科食物栄養専攻 有我 渚



附属幼稚園

4月10日は附属幼稚園の入園式。桜の花も新しいお友達の入園を待っていたかのように満開となり、新入園児27人が幼稚園の門をくぐった。一人ひとり名前を呼ばれ「ハイ」と大きな声でお返事ができ、大きな組さんからはお祝いの言葉と手作りのペンダントが贈られた。そして「はたまたわたしたちは幼稚園のお約束を守って、よい子になります」と三つ顔だした。



附属高等学校

開成校が季節はずれの雪に覆われた4月8日、郡山女子大学附属高等学校第59回入学式が建学記念講堂で行われた。

今年の入学生普通科72名、音楽科7名、美術科13名、食物科28名の合計120名。新しい制服の新入生は学級担任の呼名に対し「ハイ」と緊張と感動に頬を紅潮させ元気に返事した。



八幡文明校長が「豊かな教養を身につけ、目標に向かって努力をし、一生の宝となる良き友人を見つけてください」と式辞を。在校生を代表して、生徒会長の北池敦美さんが歓迎の言葉を述べた。新入生代表の吉田華澄さんが保護者と、共に中央ステージに進み「校則を守り、社会に貢献できる女性になれるよう努力します」と、心を込めて学校長に誓いの言葉を述べ、附属高校生としての第一歩を踏み出した。



卒業

311人が卒業

大学院・大学・短期大学部

大学院修士課程第21回、大学第46回、短期大学第64回、同専攻科第14回の修了式・学位記授与および卒業式が3月18日、建学記念講堂で行われた。

開成学園オーケストラによる奏楽のあと式典に入り、大学院修士課程1名、大学生89名、短期大学部219名、同専攻科2名の合計311人に、関口学長から学位記および卒業証書が手渡された。

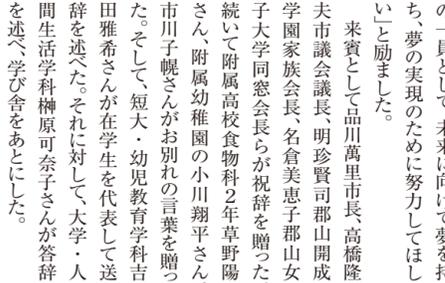
関口学長は告辞として「地域社会



附属高等学校

第56回卒業式が3月3日、建学記念講堂で挙行された。普通科60名、音楽科4名、美術科8名、食物科21名が一人ひとり呼名され、それぞれの総代に卒業証書が授与された。続いて学園長賞、学校長賞、皆勤賞特別教育活動賞などが授与された。

八幡校長が「卒業おめでとう。健康に留意し、それぞれの目標に向かって歩んでください」と告辞した。在校生代表で生徒会長の堀池敦美さん(2年)が送辞を述べ、前生徒会長の馬場美樹さんが答辞を述べた。



附属幼稚園

3月19日、梅のつぼみが膨らむ中、幼稚園の卒園式が行われた。卒園児たちは、お友達や先生と別れる寂しさや、小学校に入学する期待を胸に式に臨んだ。一人ひとり呼名されると元気づけ返事をし、賀門園長から「げんきにあかるくてくんでのびよ」と卒園証書をいただいた。クラスでは一人ひとりに卒園記念の梅の木の苗木(白加賀)が手渡され「よくみるよ、よくみるよ、よくかんがえ」を胸に巣立っていった。



卒業研究発表会

■大学人間生活学科

- ▽生活総合コース
- ▽水資源に対する生活者の課題
- ▽保育園児の生活習慣と保護者の意識に関する考察
- ▽幼児は絵本の中に興味を示すかー繰り返し構造に注目してー
- ▽福祉コース
- ▽これからの福祉の在り方を模索する共生型福祉施設ー福島県共生型福祉施設を推進する意義の考察ー
- ▽介護をとりまく現状と地域支援事業の必要性ー福島県石川郡石川町の事例をとおしてー
- ▽「建築デザイン」コース
- ▽南東北地方における占領軍事施設の特徴とその背景ー建物接取にみる洋風建築の実態と欧米流の住まい方像の特質ー

■短大・家政科食物栄養専攻

- ▽女子大生のダイエット状況ー正しいダイエットとはー
- ▽凍み大根の新たな活用について
- ▽骨密度と生活習慣の関連性について
- ▽子どもの苦手な食べ物を克服するための工夫ーなすを克服ー

■短大・文化学科

- ▽縄文式土器の廃棄の研究ー笹山原遺跡N.16の資料を用いて
- ▽北欧神話の小人と鍛冶屋の関わりについて
- ▽苗字の比較学ー近世から現代へー
- ▽町絵師重政堂田善の洋風画
- ▽宮崎駿作品の主人公に見る宗教的要素ーナウシカ・もののけ姫・千尋を中心にー

■専攻科・文化学科専攻

- ▽後期石器時代前半期の石材資源運用の研究ー会津若松市笹山原遺跡N.16第3石器集中資料を用いて

私が附属高等学校を志願した理由

私は4歳の頃からピアノを習っています。高校では更にピアノの演奏技術を高め、音楽理論やオーケストラ、ソルフェージュなど音楽について幅広く学びたいと思い、附属高校の音楽科を志願しました。私の将来の夢は中学校の音楽の先生になることです。中学時代の出会った音楽の先生は、音楽の楽しさを沢山教えてくれました。私もその先生のように音楽を通して多くの事を伝えたいと思っています。附属高校は音楽を学ぶ環境が整っているの、3年間精一杯努力し自分の力を最大限に伸ばしていきたいと思っています。

附属高等学校 音楽科 中谷 仁絵

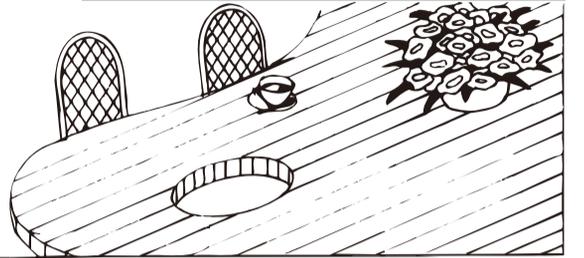
私が附属高等学校を志願した理由

私は4歳の頃からピアノを習っています。高校では更にピアノの演奏技術を高め、音楽理論やオーケストラ、ソルフェージュなど音楽について幅広く学びたいと思い、附属高校の音楽科を志願しました。私の将来の夢は中学校の音楽の先生になることです。中学時代の出会った音楽の先生は、音楽の楽しさを沢山教えてくれました。私もその先生のように音楽を通して多くの事を伝えたいと思っています。附属高校は音楽を学ぶ環境が整っているの、3年間精一杯努力し自分の力を最大限に伸ばしていきたいと思っています。

附属高等学校 音楽科 中谷 仁絵

ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



阿部 俊夫

文化財を訪ねて

棚倉町馬場の都々古別神社は大同2年(807)坂上田村麻呂の創建を伝え、古くから陸奥一宮として崇敬されてきました。本殿は昨年12月10日国指定の重要文化財になりました。建造物の指定は県内で33件目、東白川郡内では初めてです。

郡山駅から水郡線で約1時間、棚倉駅に到着しました。まず旧社地の棚倉城跡へ。寛永2年(1625)棚倉藩主丹羽長重はこの地に鎮座していた都々古別神社を西方の現在地に移築、遷座しました。その跡地に築城したのが棚倉城です。真つ先に目に飛び込んできたのは大手門脇に聳え立つ巨木。それは御神木のために残されたと伝えられる樹齢約620年の大櫛です。昭和51年(1976)県の天然記念物にも指定されています。

進んで行きますと、仰ぎ見る大樹に囲まれて、鳥居の向うに荘厳な社殿は静かに鎮座していました。社殿は文禄3年(1594)豊臣秀吉の命により佐竹義宣が造営したとされています。拝殿に祈願し、拝殿の東側に回り玉垣越しに厳かに佇む本殿を眺めました。華美な装飾をほとんど用いない簡素な「三間社流造」の古建築で、大きく傾斜して延びる屋根が極めて印象的です。東北地方に数少ない江戸時代以前の本殿建築と評価され、今回の指定になったのです。境内には熊野、稲荷など数々の分社が祀られ、往時の厚い信仰が偲ばれます。

創建から1200年余、都々古別神社は今も昔も変わることなく、町民の暮らしの安寧を加護し続けていくように思えました。(短期大学部・文化学科准教授)

自分の世界を創る



短大生活芸術科2年 橋本 成美

私は幼い頃からずつと絵を描くのが好きで、高校は附属高校の美術科に入学しました。当時は表現したいイメージに技術が追いついていかず、なかなか自分の思うような結果が出せない理想と現実のギャップに、今まで楽しくて大好きだった美術が嫌いになった時期もありました。その中で、高校時代に指導して頂いた先生から言われた「過去の栄光も失敗も全部捨ててリセットしろ!」という言葉が深く胸にささりました。理想と現実の差に落胆したのは現実から目をそらし、自分の実力を高く見すぎた結果です。現状を受け入れると気持ちに余裕ができて冷静になり

課題と打開策が見えて、ひたすら絵を描く毎日を過ごしてきました。私は高校で美術に限らずこれから生きていく上で出来ない自分を受け入れる事と過去の栄光を断ち切る事の大切さを学びました。大学生になつた今でも表現をするという事の難しさを、結果を残すには徹底的に自分と向き合い妥協を許してはいけない事を痛感します。今までは作品を制作する事に対してあまり楽しいと感じた事はありませんでしたが、最近表現したい世界観が具体的になつてきたのと、イメージと技術が対等になりつつあり制作が楽しく感じるようになりました。ようやく芸術を学ぶものとして第一歩を踏み出したかなと思います。今までの苦悩が作品で活きる度にこの道に進んでよかつたと感じます。

芸術は生きていく上で必ずしも必要のあるものではありませんが、一度関われば人生を豊かにしてくれる素晴らしい文化だと私は思っています。そのような世界に少しでも携われていることを誇りに思います。

出会いに感謝して 前進!



附属高等学校普通科3年 柴崎 加奈

私は附属高校に入学して、中学校時代に取り組んでいたバスケットボールを続けようと思っていました。しかし、ハンドボール部から入部の誘いを頂いて、私の運命は大きく変わりました。中学校からのバスケットが、た友人がハンドボールに挑戦する、というところから、ハンドボールに賭けてみようという気持ちになりました。しかし、実際の練習は厳しいもので

した。また、ハンドボールとバスケットボールのルールは似ているのですが、微妙に違います。バスケットはボールを持って2歩までしか歩けません。ハンドは3歩まで歩くことができます。3歩目は頭でわかつていても体が拒否してしまうのです。ディフェンスの時もバスケットでは体をぶつけ合うとファウルになってしまいますが、ハンドは体をぶつけ合います。どうしてもバスケットのルールが体から抜けず、入部したての頃はハンドの動きができません。これを克服するには「練習」しかありません。そして、気がついてみると私は「ハンドボール」の選手になっていました。

今回、日韓中ジュニア交流競技会の日本選手団の一員となれたのも、ハンド初心者なのに顧問の富本先生の確かな練習法を示して下さったからです。ハンドボールを始めたことで、私は「新しい自分」を見つけたことができました。富本先生との出会いは私にとって幸運以外の何ものでもありません。出会いが人を成長させることを私は今実感しています。

辛いことがあると私たちはつい逃げたくなりますが、その辛さを乗り越える事が大切なのだと思います。

厳しい練習や、負けた試合があるからこそ、次は勝つことができるのです。これからも困難から逃げずに何事にも挑戦していくつもりです。そして私が今、ハンドボールができるのは富本先生を始め増子先生、応援してく

2015年5月に椎茸と種菌を植える原木のホダ木(椀木)の放射線を測定したところ、椀木のセシウムは266Bq/kg、椀木に生育していた椎茸(乾燥)は6470Bq/kg、また、椎茸と同じ椀木に生育していた別のきのこからは1912Bq/kg検出された。一般的に畑地土壌と野菜では、土壌放射線量の1/10程度が根で検出され、さらにそれが葉や実に移行している。きのこは一般の農産物と異なり、セシウムを濃縮していた。

生活診断室 シリーズ 54

食品の放射能について

郡山女子大学 食物栄養学科
講師 影山 志保

れた先生方、一緒に練習をしてきた仲間、応援してくれた両親やクラス仲間がいてくれたおかげであるということをお忘れずに進んでいきたいと思ひます。

椀木の放射線量は減るが、湯止め後の椀と茹汁の放射線量はほぼ同濃度になるだけである。同様の現象は野菜の塩漬でも観察された。茹でたり塩漬することで放射性物質は水に移行するが、放射性物質を含んだ水に長時間浸漬しておくことはお奨めできない。現に食事の放射線量で給食の基準値10Bq/kgを超える食品は、漬物などの加工食品が多い傾向にある。加工食品は加工日が生産日になることから、原料として

長期間保存した材料や安価な材料で作られているのが現状である。

私の本棚 「叔父の本棚」

附属高等学校 教諭 相楽 旬子

先日母方の叔父が亡くなった。数年前に叔父も亡くなっていたため、花一杯の庭と小さな家が残された。叔母の家は幼い頃の私にとって「秘密の花園」だった。「月下美人が咲くからおいで」と言われて黄昏時、優雅に膨らんだ真っ白な蕾がほほけるのを息

を詰めて眺めたりした。なにより、叔父の書斎のソファに座って壁一面の叔父の蔵書の背表紙を眺めるのが好きだった。背表紙を眺めると誰かに呼ばれた気がして、気がつくとい私は一冊の本に手を伸ばしている。函からそつと取り出すとパラフィン紙がシヤリつと鳴る。表紙裏には「橋本蔵書」の印。確かに呼ばれたと思つたのに、そこから先へは進めなかつた。なぜか胸がドキドキした。パラフィン紙がよじれないように慎重に函に戻す。「まだ早いよ」となかなか私を呼んでくれないのに、いつも目に入ってきた

のは三浦綾子の「羊が丘」。窓の外に目をやると華やかなのにどこか寂しい夏水仙がすんなりと咲いていたりした。

今、橋本蔵書の一部は私の本棚の特別な場所に収まっている。岩淵悦太郎「国語の心」、小林秀雄「藝術随想」、辻嘉「味覚三昧」、熊谷守「蒼蠅」、川端康成「日本の美のこころ」、中里恒子「誰草」、安野光雅「空想工房」…。時折手に取り、叔父が鉛筆で引いた線をよすがに読んでみる。その捉え方の輪郭の確かさに私の胸はまたドキドキしてしまうのだ。

ようこそ 郡山開成学園へ

新任教職員の方々のご紹介

郡山女子大学

〔新採用〕 (4月1日付)

佐久間 邦友 講師
日本大学大学院文学研究科博士課程修了
所属 大学・人間生活学

澤渡 勇喜 講師
北海道大学大学院農学研究所博士課程修了
所属 短大・家政科食物栄養専攻

柴田 卓 講師
仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了
所属 短大・幼児教育学科

草野 順子 助手
郡山女子大学短期大学部生活芸術科卒
平成23年から期限付助手(学務担当)
所属 短大・生活芸術科

平野 由香子 職員
文化女子大学文学部卒
平成22年から期限付職員
所属 経理部

増井 志真 職員
文教大学卒
平成25年から期限付職員
所属 教務部

佐藤 吉一 技術職員
郡山工業高校卒
平成22年から派遣にて郡山開成学園設備管理に従事
所属 管財部

期限付雇用職員

細谷 晴日 助手
郡山女子大学食物栄養学科卒
所属 大学・食物栄養学科(学務担当)

岡崎 友亮 講師
福島県立医科大学大学院医学研究科修士課程修了
所属 附属高校・理科

三善 瑠美 講師
清泉女子大学文学部英語英文学科卒
所属 附属高校・英語

横田 安寿 教諭
郡山女子大学短期大学部幼児教育学科卒
所属 幼稚園

渡辺 千遥 教諭
郡山女子大学短期大学部幼児教育学科卒
所属 幼稚園

岸本 圭生 職員
会津大学コンピュータ理工学部卒
所属 就職部

大友 優真 職員
郡山女子大学短期大学部幼児教育学科卒
所属 入学事務・広報部

佐藤 理穂 職員
郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻卒
所属 就職部

池田 理咲子 職員
郡山女子大学食物栄養学科卒
所属 教務部

阿部 智子 職員
日本女子体育大学体育学部運動科学科卒
所属 総務部・総務課
(5月18日付)

昇任

- 大学/教授 鉢野信子(准教授)
- 准教授 岡部聡子(講師)・先崎和子(講師)・亀田明美(講師)・源川博久(講師)・助教 藤田京子(学校職員)
- 短大/教授 会田久仁子(准教

授) 准教授 小林澄枝(講師)・山上裕子(講師)・小松太志(講師)・講師 阿部優子(助教)・助手 授業補助担当 仲西真美子(学務担当)

▼附属高校/主事 渡邊泰夫(教諭)
▼事務局/総務部部長代行 加瀬洋(総務課長)・総務部総務課長 熊田敦也(秘書係長)・教務部教務課長 辻和宏(教務係長)・教務部庶務・連携課長 鈴木光洋(連携係長)・経理部出納課長 岩谷まり子(経理部出納係長)・管財係長 安斎文明(管財部主任)・経理部出納係長 佐藤浩平(教務部主任)

■平成26年度で退職された方々
3月末で、次の方々が(学)郡山開成学園を退職なさいました。
これまでもご尽力に心から感謝し、今後のご活躍ご健勝をお祈り申し上げます。(敬称略)

- 【第一定年】
短大/深谷登喜子教授 由辺真弓教授 三瓶令子教授 太宰待子准教授
附属高校/桜川敦子教諭・鈴木裕子主事
- ▼事務局/添田富美子庶務係長・江連幸典経理課長
- 【第二定年】
大学/橋爪敏准教授・先崎和子講師
- ▼短大/阿部俊夫准教授
- 【依願退職】
大学/山本裕詞教授・石田智宏准教授
- ▼幼稚園/鈴木恵子教諭
- 【期限付期間満了退職】
大学/ジョン・ティルマント教授・広井勝教授
- ▼短大/鍋山友子講師
- ▼附属高校/大島憲慎講師 吉田文代講師
- ▼事務局/大和田不三彦総務部長 斎川博治管財部環境保全室長・本多直子・渡邊雅也・先崎絵美(就職部職員)

NEWS 学園ニュース

附属高等学校校長杯で二本松一中が優勝!

第26回郡山女子大学附属高等学校校長杯バレーボール大会が2月21日に開かれ、二本松一中が優勝した。大会には県北、県中、県南地区から11チームが出場、予選リーグと決勝トーナメントで順位を決めた。成績は次の通り。

- 優勝 二本松一中
- 準優勝 東北中
- 3位 松陵中
- 白沢中



熱戦が繰り広げられた

インスタントラーメン オリジナル料理コンテスト2015

優勝 渋谷 奈那(既卒郡山女子大学食物栄養学科に進学)

「福島の恵みたっぷり こつゆあなかけラーメン」

日本即席食品工業協会賞 浅倉 冨美(附属高校3年)

「ほのかな甘さ!!幸せのアップル焼」

国際ソロプチミスト主催 第7回「夢を生きる」アートコンテスト2014

日本北リジョン賞 五十嵐 友美(附属高校3年)

第14回マーチングステージ 全国大会 優秀賞

マーチングバンド部(5年連続6回目)

第67回県春季弓道大会

高校の部 個人2位 菅野 未来

第40回牡丹杯剣道大会

高校女子団体 2位

公募展89回国展

- 入選 絵画 草野 順子(短大・生活芸術科・助手)
- 入選 彫刻 杉山 萌(平成26年度卒)
- 辺見 奈央(平成26年度卒)

第61回県高校体育大会 新体操競技

- 団体 1位(高橋結花・星愛梨・渡邊柚芽理・星妃羅良・遠藤芽生)
- 個人 2位 高橋 結花
- 3位 渡邊 柚芽理
- 5位 星 妃羅良
- 6位 遠藤 芽生

家族会新会長選出

平成27年度家族会総会が5月24日に開かれ、新会長に日向恵氏が選ばれた。任期は1年。
会長 日向 恵
副会長 鈴木 弘幸
根本 良一

本年度芸術鑑賞講座 教養講座 予告

- 6月 小川典子ピアノリサイタル
- 7月 沖仁フラメンコギターコンサート
- 10月 ふるさと大賞作品展(もみじ会協賛)
- 10月 イ・ムジチ合奏団演奏会
- 10月 池上 彰講演会
- 11月 劇「ハムレット」

生活芸術科実技体験講習会 音楽科技術講習会の日程決まる

夏休み恒例の本短大・生活芸術科の実技体験講習会は、7月24日(金)から26日(日)と決まった。また、音楽科の受験生を対象とした技術講習会は8月3日(月)と4日(火)の2日間。近く要項が発表されるが、定員制なので申し込みは早めにとぞ。

訃報

桜井 一平先生
元郡山女子大学副学長、同名誉教授
3月22日死去 82歳
心から冥福をお祈り申し上げます。

大学・人間生活学科 市民講座開催のお知らせ

郡山女子大学家政学部人間生活学科主催の市民講座「暮らしのページ」が次の日程で開催される。
●開催日/7月25日(土) 13:00~15:30
●場所/創学館 531教室
●統一テーマ/「暮らしのページ」コース毎の講師と講演のテーマは次の通り。

- ▼生活総合コース/難波めぐみ先生「源氏物語に見る生活と色」
- ▼福祉コース/泉 秀生先生「郡山のごもたちの生活実態とその課題」
- ▼建築デザインコース/長田 城治先生「『ことば』に秘められた住まいの歴史―探してみよう建築用語―」

※入場無料
受講ご希望の方は、大学・人間生活学科 武井先生まで。
024-932-4848

福島県立博物館特集展 「発掘ガール―郡山女子大学短期大学部 文化学科笹山原遺跡発掘14年の軌跡―」

2015年2月7日(土)から3月22日(日)まで福島県立博物館企画展示室において、県立博物館と郡山女子大学短期大学部との共催による特集展「発掘ガール」が開催されました。



展示作業を終えて(文化学科1・2年生と県博学芸委員)

文化科学学芸員課程では平成24年のカリキュラム改編に伴い、実践的な力を持つ学芸員養成の授業を進めてきました。博物館実習の中で、学生が自ら考え、企画し、展示物を作成したものが、展示という形で結実しました。展示期間の毎週土曜日一般の見学者の方に学生が展示解説を行いました。また、オープニングと講演会の日には、短大食物栄養専攻に縄文土器片をモチーフにした「Doki☆土器Cooke」(手作りクッキー)を作成していただき、無料配布したところ、大変好評を得ました。

展示は2部構成で第1部は「発掘ガール始動!」と銘打ち、発掘調査の過程と整理作業、14年間の発掘調査内容について展示を行いました。第2部は「調査研究の成果」として、平安時代、縄文時代、旧石器時代の笹山原を発掘で出土した資料を中心に展示しました。

これらの文化学科の試みは福島民報誌上文化欄では「さわやか、発掘ガール」として、福島放送スーパーJチャンネルでも取り上げられました。文化学科では、笹山原遺跡の発掘を継続するとともに、実践力ある学生教育を行ってゆきます。

ムシテックワールドに 春の遠足―附属幼稚園

年中組・年長組の春の遠足では、須賀川市にあるムシテックワールドに行つて参りました。待ちに待った遠足でお子さん達は目を輝かせながら登園する姿が印象的でした。

館内ではサイエンスショーを見たり、プラン工作やストラップ製作、屋外活動など楽しく取り組みました。ま



大喜びの園児たち

た、生き物との触れ合いではへびが大人気でした。日常の保育では経験できないこととができ、よい時間を過ごすことができ、とても楽しい一日でした。

家政学館1階調理実習室が リニューアル

平成26年度私立大学等教育研究活性化設備事業補助金の採択を受け、家政学館1階調理実習室のアクティブラーニング化工事が平成27年3月26日に竣工いたしました。曲線を用いた調理台(ビーンズ型)システムキッチンを設置し、それに附属する厨房機器を調理実習動線に配慮し設置することにより学生の移動がしやすく、やわらかい雰囲気での調理実習が可能となりました。

また、調理実習時に講師の手元を撮影するカメラ映像を液晶テレビ及



リニューアルされた調理実習室

びプロジェクトスクリーンに表示し、学生に提示することにより実習効果が向上するとともに小型収録システムで収録した画像を、後日何度でも視聴できる「振り返り学習」が可能となるよう視聴覚設備を設置しました。

東北地区女子記録会に 参加 弓道部

5月24日、宮城県第二総合運動場弓道場にて「第36回東北地区女子記録会」が開催され、東北地区大学生の35名の選手で争われた。同大会には本学4名の弓道部員が参加した。記録会は個人戦で一人合計60射して成績を争うもの。本学学生の成績は上位から25位、26位、27位、33位だった。

今後は、東北地区大会団体戦が6月に青森県弘前市で開催されるため、そこでの上位成績を収めることと、8月の全国大会に向けて練習を積み重ね、そこでも好成績を収めることを目標としている。



上位入賞を目指す弓道部

復興に向けて農業体験 「田んぼの学校」に参加

短期大学部家政科食物栄養専攻では、5月21日に福島県農業総合センターにおいて東日本大震災以降初めて再開された「田んぼの学校」に参加しました。開校式と農業総合センターの職員による水稲栽培に関する説明を聞いた後、2年生19名と教員5名が福島県オリジナル品種のうるち米「天のつぶ」や、もち米「こがねもち」の苗を2枚の水田に植えました。田んぼの泥に足をとられ、尻もちをついたり、通り雨に降られたりと途中にはアクシデントもありましたが、

楽しく田植えを体験し、初夏の清々しい一日となりました。「田んぼの学校」では秋に稲刈りも予定されており、学生は収穫を楽しみにしながら、「この体験を食育に活かしたい」と話していました。



田植えを終えた水田にて

紙上美術展 74

美術科

郡山女子大学附属高校美術科3年生2名が油絵を専攻しています。授業のみならず、朝や放課後の時間を活用して熱心に制作を行っています。美術科では3年間の集大成として卒業作品展を実施しており、その展示に向けて制作した最初の作品です。



いがらし ともみ
五十嵐 友美
恩愛 F50号

小さい頃から常に傍にいて、私を可愛がってくれたおばあちゃんへの溢れ出す愛を表現しました。自分の肉親への思いを表現するにあたって、家族のあたたかさや共に過ごす楽しさを改めて感じながら描き上げた作品です。



たかはし すずね
高橋 ずずね
生命歓喜 F50号

いろいろな出会いや生活していく環境の中で、自分という生きた存在があり、他と支え合い、かかわり合いながら個性を見出していき喜びを、私なりに表現しようと思ひ制作しました。

木もれ陽

「千夜一夜物語」に「アリババと40人の盗賊」の話がある。そこにアリババの家の賢い女奴隷マルジャナが登場する。奪われた宝物を取り返そうとしてアリババの家を探し出した盗賊は扉に白い目印をつける。それに気付いたマルジャナは周囲の他の家の扉に同じ白い目印をつけて盗賊の襲撃を未然に防ぐ。

経済学者の岩井克人氏はこの話を例にとり、マルジャナは情報の本質が「差異」にあることを理解して、その差異を均質化することによって「目印」という価値を失わせて襲撃の難を回避したとする。「情報の商品化」という現代的な現象に「資本主義経済機構の秘密」を見い

だしている。「差異」自体を売り物にする「情報の商品化」が、「差異」によって利潤を生み出す資本主義の基本原則を体現しているというのである。しかし、この情報化社会にあつて人間がその人格を否定するようになるにしたら恐ろしいことである。また一人の人間が単なる「人材」としてのみ扱われ「モノ」化されることも憂慮される。人間としての「差異」を言うならば、商品としての価値ではなく、「他の人にはない自分らしさ」として、つまりONLY ONEの力として発揮されることを願う。マルジャナがその賢さ故に幸福を得たように。(平)